



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アスモ

コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 幸延

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 兼 経営企画室室長 (氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,194	20.2	188	20.2	180	27.5	157	8.0
24年3月期第1四半期	1,825	△15.7	157	646.9	141	—	146	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 156百万円 (18.8%) 24年3月期第1四半期 131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.13	—
24年3月期第1四半期	1.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	3,042	1,585	48.6	10.54
24年3月期	2,957	1,429	44.8	9.44

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,478百万円 24年3月期 1,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,294	14.0	389	9.8	384	15.9	335	3.8	2.40
通期	8,724	10.6	744	△5.7	732	△3.9	630	△33.9	4.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	151,451,750 株	24年3月期	151,451,750 株
25年3月期1Q	11,242,601 株	24年3月期	11,242,601 株
25年3月期1Q	140,209,149 株	24年3月期1Q	140,209,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成24年7月1日より会社名を「シンワオックス株式会社」から「株式会社アスモ」に変更いたしました。

2. (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報等	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする回復の動きが見られたものの、欧州債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大に加え、円高水準の定着や電力供給問題など多くの懸念材料により、先行きははるかに不透明で予断を許さない状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、給食事業を収益の柱として一層の向上を図るとともに、卸売事業、介護事業、外食事業についても安定的な収益の確保に向け取り組んでおります。

また、平成24年7月2日付けで、当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、今後の成長が見込める在宅介護の分野に進出し、訪問介護事業所の展開を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,194百万円（前年同四半期比 20.2%増）、営業利益188百万円（前年同四半期比 20.2%増）、経常利益180百万円（前年同四半期 27.5%増）となり、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は、157百万円（前年同四半期 8.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災及び焼肉店における集団食中毒事件から1年が経過し、徐々に回復傾向にあります。牛肉に関しては、需要の冷え込みが未だ続いております。牛肉に関しましては、メキシコ産を筆頭に直輸入商品を安定供給し、販売先の信頼を得ることができたため、取引が長期的に行えるようになりましたが、ユッケ、生レバーの提供禁止以来、焼肉店の販売不振から牛内臓肉の販売が落ち込み、値下げ販売を余儀なくされました。しかしながら、輸入豚肉の通関に関して、審査が厳重化されたことにより、競業他社が在庫を確保しようとしたため、価格が上昇し、結果、売上及び利益に寄与いたしました。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、440百万円（前年同四半期比 62.4%増）、営業利益は、20百万円（前年同四半期比 156.6%増）となりました。

② 外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX (H. K.) COMPANY LIMITEDが、香港にて日本食の外食店舗を運営しており、既存店舗の強化（改装、メニュー変更等）に努めております。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、309百万円（前年同四半期比 20.2%増）となり、営業利益は、19百万円（前年同四半期は、12百万円の営業損失）と堅調に推移いたしました。

③ 給食事業

給食事業におきましては、高齢者介護施設給食受託の順調な増加が安定的な収益確保に寄与しております。また、公共施設の給食等受託に向けた取り組みで、長期的な成長に向け新たな基盤の開発・強化に努めております。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,382百万円（前年同四半期比 13.5%増）、営業利益は、178百万円（前年同四半期比 5.1%減）となりました。

④ 介護事業

介護事業におきましては、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居斡旋業務を行っております。当第1四半期連結累計期間については、前期に開設した高齢者介護施設の前第4四半期中の前倒し需要の影響及び入居斡旋対象施設の増加に伴う営業力の分散により効率的な入居斡旋ができませんでした。今後においては、効率的な営業に努めてまいります。結果、売上高は、62百万円（前年同四半期比 22.1%減）、営業利益は、43百万円（前年同四半期比 29.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が36百万円、商品が54百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少いたしました。これは主に短期借入金90百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益157百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.6%（前連結会計年度末は44.8%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	666,265	702,605
受取手形及び売掛金	843,451	832,175
商品	160,289	214,746
貯蔵品	12,089	12,776
その他	277,899	263,818
貸倒引当金	△471	△470
流動資産合計	1,959,522	2,025,651
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	515,283	543,835
有形固定資産合計	515,283	543,835
無形固定資産		
のれん	408,143	400,732
その他	2,229	2,171
無形固定資産合計	410,372	402,904
投資その他の資産		
その他	409,663	404,473
貸倒引当金	△337,291	△334,714
投資その他の資産合計	72,371	69,758
固定資産合計	998,027	1,016,497
資産合計	2,957,550	3,042,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	316,493	325,106
短期借入金	626,208	536,208
未払金	325,143	336,677
未払法人税等	24,013	21,466
賞与引当金	36,963	24,820
返品調整引当金	10,193	7,227
その他	153,894	179,996
流動負債合計	1,492,910	1,431,503
固定負債		
長期借入金	12,110	10,682
その他	23,107	14,107
固定負債合計	35,218	24,789
負債合計	1,528,128	1,456,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△3,368,825	△3,210,829
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	1,286,488	1,444,484
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,577	33,810
その他の包括利益累計額合計	37,577	33,810
少数株主持分	105,356	107,561
純資産合計	1,429,421	1,585,855
負債純資産合計	2,957,550	3,042,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,825,786	2,194,009
売上原価	1,246,675	1,561,530
売上総利益	579,111	632,478
返品調整引当金戻入額	4,244	10,193
返品調整引当金繰入額	5,269	7,227
差引売上総利益	578,086	635,444
販売費及び一般管理費	421,079	446,764
営業利益	157,007	188,679
営業外収益		
受取利息	43	25
貸倒引当金戻入額	—	677
その他	479	1,225
営業外収益合計	522	1,928
営業外費用		
支払利息	5,378	3,119
為替差損	2,430	4,607
その他	8,469	2,838
営業外費用合計	16,278	10,565
経常利益	141,251	180,042
特別損失		
固定資産売却損	—	36
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益	141,251	180,005
法人税、住民税及び事業税	3,424	16,186
法人税等合計	3,424	16,186
少数株主損益調整前四半期純利益	137,827	163,819
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8,513	5,823
四半期純利益	146,341	157,995

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,827	163,819
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,135	△7,385
その他の包括利益合計	△6,135	△7,385
四半期包括利益	131,691	156,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,211	154,229
少数株主に係る四半期包括利益	△11,520	2,204

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	271,042	257,635	1,217,488	79,620	1,825,786	—	1,825,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	271,042	257,635	1,217,488	79,620	1,825,786	—	1,825,786
セグメント利益又は損失(△)	8,053	△12,164	188,027	62,394	246,311	△89,303	157,007

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,311
セグメント間取引消去	779
のれんの償却額	△6,090
全社費用（注）	△83,993
四半期連結損益計算書の営業利益	157,007

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	—	2,194,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	—	2,194,009
セグメント利益	20,666	19,208	178,520	43,939	262,335	△73,656	188,679

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,335
のれんの償却額	△6,090
全社費用（注）	△67,566
四半期連結損益計算書の営業利益	188,679

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。